

# 令和3年度 第3回原村観光推進組織検討委員会 議事録

日 時：令和3年10月22日（水）14:00～

場 所：原村役場 2階 201 会議室

出席者

委員長 石川高明

副委員長 中村洋平

委員 牛山貴広 鵜飼和仁 折井裕介 菊池由佳

佐宗利江 林誠二 松尾靖

事務局 小池恒典 菊池紀幸 川俣大翼

地域おこし協力隊 柏崎奈津子 村澤有美

## 1 開 会

## 2 協議事項

- ・メールで集約した課題や意見について

今後 DMO を検討していく中で解決すべきことになる。

その中でデータの欠如という意見については、八ヶ岳観光圏で行っている来訪者満足度調査結果を参考にさせていただきたい。

清里が主になっているのでデータの全てが原村に当てはまるわけではないが参考になる。ご確認をお願いしたい。

データについての解説。（委員長）

データを取るにはお金も労力もかかる。その中でこの調査は全国の観光圏で統一して行われており、調査会社が比較、考察もしてくれている。

このようなデータは商品造成の参考になる。

委員 A おおよそ想像通りのデータになっている。

委員 B 他の DMO に比べて飲食費が少ない理由は。

委員長 日帰りが多く、昼ご飯だけしか消費がない。

車での来訪者はお酒がのめないなので消費額を上げられない。

この地に来たらこれを食べる、という絶対的な名産がない。

高速道路での渋滞回避のため早めに出て、SAなどで夕食を済ませます。

などが考えられる。

- ・ 周辺 DMO 組織について

八ヶ岳観光圏とちの観光まちづくり推進機構の比較

	八ヶ岳ツーリズムマネジメント	ちの観光まちづくり推進機構
種類	DMO	DMO 候補
エリア	地域連携（北杜・富士見・原）	地域 DMO（茅野）

収入	補助金（国）・自治体	自主事業・補助金（国）・自治体
その他	代表理事（無給）	代表理事（有給？）
	旅行業なし	旅行業２種

※委員長提供情報

旅行業の資格は検討すべきことになると思う。自主事業などを行うときは必要になる。

委員 A 委員をもう少し増やしてもいいのでは。この場に適した方は他にもいるし、このメンバーだけで決めていいのかと不安にも思う。

また、ゆっくり会をすすめていくのか、スピード感をもっていくのか。

事務局 アドバイザーとして意見を聞くためにお呼びすることもできるし、委員として増やすにしても条例の改正をすれば増やすことはできる。

・原村が目指す方向性について

DMO が独自に事業を行い稼ぐという方向もあるが、DMO が生き残って他の事業者がダメになってしまうようでは本末転倒である。観光以外の事業者も取りこんで来訪者を循環させる組織にしていくべきだと思う。皆様の商売を後押しする意識。DMO を組織すると決めてからはスピード感をもっていきたい。

委員 C 原村が目指す観光はどういうものなのか、何を強化していくのかなどをまず決めていくべきなのでは。

いくつか仮説を立ててそれに対して検討していく形をとらないと話が進まないと思う。

委員長 村の方針に沿って考えたり、ニーズに合わせて考えていくようにしたい。次回からは3つほど他 DMO を例示してそれをもとに検討する。

3 その他

事務局 総合型スポーツも DMO に含めて進めていくこともできるか。

委員 B 地域総合スポーツ科学の方では人を育てる、人と関わることが主であり、ハード面での補助は薄い。DMO との連携でそこを埋めていけるといいと思う。

委員長 標高の高さも優位に働くのではないか。

事務局 年内にもう一度委員会を開催する予定。

4. 閉 会